

平成 2 9 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 日韓経済協会

目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	3
IV. 日韓経済人会議	-----	4
V. 日韓新産業貿易会議	-----	8
VI. 青少年交流事業	-----	9
VII. 調査・広報活動	-----	14
VIII. その他事業及び出来事等	-----	16
IX. 会員異動	-----	18

I. 総 会

A. 第5回定時社員総会

第5回定時社員総会は平成29年6月27日東京都千代田区丸の内2-3-1三菱商事ビルディング3階中会議室で開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案が審議の結果満場一致で原案どおり可決承認された。

1. 日 時 平成29年6月27日(火)
開 会 午後2時00分
閉 会 午後2時55分
2. 場 所 東京都千代田区丸の内2-3-1
三菱商事ビルディング 3階 中会議室
3. 正 会 員 総 数 74名
4. 出 席 正 会 員 数 57名
(内 訳)
正会員出席者 18名
委 任 状 39名
5. 議 事
第1号議案 平成28年度事業報告承認の件
第2号議案 平成28年度収支決算報告承認の件
第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件
第4号議案 平成29年度事業計画及び収支予算承認の件
第5号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件
第6号議案 定款変更の件

Ⅱ. 理 事 会

A. 平成29年度第1回理事会

1. 日 時 平成29年6月16日（金）

2. 議 案

第1号議案 第5回定時社員総会開催の件

第2号議案 第5回定時社員総会付議事項承認の件

（1）平成28年度事業報告(案)

（2）平成28年度収支決算報告(案)

（3）公益目的支出計画実施報告(案)

（4）平成29年度事業計画及び収支予算

（5）任期満了に伴う理事及び監事選任の件

（6）定款変更の件

第3号議案 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事推薦承認の件

第4号議案 任期満了に伴う名誉会長推薦承認の件

第5号議案 任期満了に伴う顧問推薦承認の件

第6号議案 任期満了に伴う相談役推薦承認の件

B. 平成29年度第2回理事会

1. 日 時 平成29年6月27日（火）

2. 議 案

第1号議案 会長、副会長、専務理事及び常務理事選定の件

C. 平成29年度第3回理事会

1. 日 時 平成30年3月29日（木） 書面表決

2. 議 案

第1号議案 平成30年度事業計画(案)の件

第2号議案 平成30年度収支予算(案)の件

第3号議案 新規加入会員承認の件

Ⅲ. 諮問委員会

第5回 諮問委員会

1. 日 時 平成29年11月21日 (火)
17:00～19:00
2. 場 所 三菱クラブ
3. 出席者 諮問委員会理事会社 5社
4. 議 題 (活動報告)

I. 日韓経済協会の活動状況

－ ビデオ上映 －

- ①日韓交流おまつり 2017 in TOKYO + 第49回日韓経済人会議
- ②第4回日韓第3国経済連携 モンゴルミッション
- ③第24回日韓高校生交流キャンプ in 平昌
- ④2017年度企業現場人材育成事業 (インターン実習プログラム)

II. その他

IV. 日韓経済人会議

第49回日韓経済人会議は、9月26日、27日の二日間、大韓民国ソウル特別市（ロッテホテルソウル）に於いて開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下108名、韓国側からは金 銃団長以下193名が出席して開催された。

会場：ロッテホテルソウル 2F CrystalBallRoom I・II

主題：

『激動する国際情勢における更なる日韓協力、新たな分野へ挑戦し、ともに未来を拓こう！』

〔2017年9月26日（火）〕

14：30～15：10 開会式

14：30～14：55 団長挨拶

■韓国側団長：金 銃（キム・ユン） (社)韓日経済協会会長

□日本側団長：佐々木 幹夫 (一社)日韓経済協会会長

14：55～15：10 来賓挨拶

■韓国側来賓：白 雲揆（ペク・ウンギョ） 産業通商資源部長官

□日本側来賓：長嶺 安政 駐大韓民国日本国特命全権大使

15：10～15：35 韓日産業協力功労者褒章

15：35～15：45 オリンピック紹介

■韓国側発表：李 熙範（イ・ヒボム）2018 平昌冬季オリンピック大会
組織委員会 委員長

『2018 平昌冬季オリンピック大会/2020 東京オリンピック大会紹介』

15：45～16：00Coffee Break

16：00～16：40 基調講演

■韓国側講演：許 昌秀（ホ・チャンス）全国経済人連合会 会長

『激動する国際情勢における更なる日韓の協力』

□日本側講演：石毛 博行 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）理事長

『未来志向の日韓関係に向けて』

16：40～17：05 日韓新産業貿易会議の報告

■韓国側報告：安 宗原（アン・ジョンウォン）チェアマン

□日本側報告：麻生 泰 チェアマン

17：05～17：10 セマングム及び2023セマングム世界スクリュー大会の広報映像

17：10～17：15 協会活動の一般報告

18：00～19：30 共同開催レセプション

[2017年9月27日(水)]

9:00~11:30 第1セッション 「変化する世界での日韓協力」

■Coordinator: 盧成泰 (ノ・ソンテ) ウリ銀行 理事会議長

■韓国側発表①: 鄭 仁教(チョン・インキョウ) 仁荷(イナ) 大學校 對外副總長
『保護貿易主義の台頭と韓日の対応』

□日本側発表①: 藤山 知彦(国研) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター上席フェロー
『日韓の世界史的役割は何か』

■韓国側発表②: 安 徳根(アン・ドクン) ソウル大學校國際大学院教授
『東アジア經濟共同体の構築と韓日經濟協力』

□日本側発表②: 大河原 昭夫 公益財団法人日本國際交流センター 理事長
『日韓フォーラム 25年 -未来志向の日韓關係構築に向けて-』

11:45~13:10 昼食会

13:10~15:40 第2セッション 「更なる日韓經濟協力/新たな分野への挑戦」

□Coordinator: 小針 進

静岡県立大学 國際關係学部教授・現代韓国朝鮮研究センター長

■韓国側発表①: 李佑光(イ・ウガン) 財団法人韓日産業・技術協力財団 諮問委員
『第4次産業革命時代の韓日協力策』

□日本側発表①: 藤吉 優行 ソウルジャパンクラブ(SJC) 理事長/
韓国三菱商事株式会社 代表理事社長
『これからの日韓両国企業の連携・協業について』

■韓国側発表②: 李珉和(イ・ミンファ) 創造經濟研究會 理事長
『第4次産業革命と専門職の変化』

□日本側発表②: 高安 雄一 大東文化大学 經濟学部教授
『少子・高齢化に向かう日韓両国はいま何をすべきか』

□討論者: 堀山 明子 毎日新聞 外信部副部長(元ソウル/ロサンゼルス特派員)

15:40~16:00 Coffee Break

16:00~16:20 閉会式 共同声明採択 / 両国団長挨拶

16:30~17:00 共同記者会見(両国団長) 3F Athene Garden

共同声明

「激動する国際情勢における更なる日韓協力、新たな分野へ挑戦し、共に未来を拓こう！」

第49回日韓経済人会議は2017年9月26日と27日の両日にわたって大韓民国ソウル特別市に於いて開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下108名、韓国側からは金鉦団長以下193名が参加した。

日韓両国はこれまで多くの困難に直面してきたが、両国の経済人は日韓経済協力促進のため、日韓経済人会議を1969年以来一度も中断することなく両国交互に継続開催してきた。また、日韓経済協力のみならず、経済・文化・人材の3本柱の絆を絶やすことなく、両国友好の為に尽力してきた。一方、日韓両国間には引き続き困難な問題が存在するが円滑なビジネスの進展の為に安定した両国関係が大前提である事を勘案するに、先般のウラジオストックでの両国首脳会談において、両国首脳の信頼関係が構築され両国間に横たわる問題に関しても、安定的に管理しながら、未来志向の関係に発展させていく事にしたことに対し日韓両国経済人として心より歓迎するものである。

今回の第49回日韓経済人会議においては、最近の激動する国際情勢の中、両国経済人は第4次産業革命・日韓両国共通の社会課題の解決・青少年育成交流など、次の50年を見据えた未来志向の日韓協力について議論した。特に日韓両国は、日本の雇用確保の問題や韓国の大学生の就職難など、それぞれが直面している課題について今後如何に解決していくべきかを含め、下記事項に関して認識を共にした。

「一つの経済圏形成に向けた粘り強い努力の継続」

日韓FTA、日韓中FTA、またメガFTAに代表されるような日韓両国、更にはアジア全域の経済発展と自由で公正な貿易の実現につながる一つの経済圏形成に向けた努力を継続する。

「第4次産業革命等新たな分野への挑戦、協力」

第4次産業革命時代を迎え、IoT、AI等の自律的最適化をより高度化させ、その延長線上にある生産性向上・労働人材の移動・少子高齢化対応・最先端医療分野・バイオ技術の発展・グリーンテクノロジーの革新など、幅広い発展を目指し、更には新しい時代を担う専門人材の育成等幅広く情報と知恵を共有し、協力する。また、発展を促す意味でも両国の新技術活用の為に制度整備を進めていただくよう両国政府に要望する。

「日韓両国共通の社会課題の克服に向けて」

新たな分野に挑戦していく一方、高齢化に伴う医療・介護問題、PM2.5等国境を越える環境問題、自然災害に対する防災面での対応等、人々の生活に密着した、両国共通の社会課題

の克服に向けて、人々が安心して幸せに過ごせる為の仕組み作りに協力する。

「第3国における協業の拡大」

両国が資源開発、インフラ輸出等を通じて第3国において共同してプロジェクトを創造していくことは、国際競争力の強化と共に、第3国の総合的社会開発への協力の観点からも極めて重要との認識のもと、今後も第3国における協業をより一層拡大する。

「青少年交流の一層の拡大」

日韓の次の50年を担う若者達の交流の拡大、充実こそが重要との共通認識に基づき、日韓高校生交流キャンプ・日韓未来学生会議・韓国大学生の在韓日本企業に於けるインターンシップ研修、中小企業若手経営者の交流等、幅広い分野での協力を継続すると共に、日韓両国政府へ更なるサポートを要請する。

「平昌冬季オリンピック・パラリンピック、東京オリンピック・パラリンピックに向けて」激動の世界を平和な世界に変えるきっかけとなる事を願い、平昌冬季オリンピック・パラリンピック、東京オリンピック・パラリンピックの二つの大会が成功裡に開催されるように相互に協力し、観光交流の拡大につながることを期待する。

「両国政府への期待」

経済・人材交流に加え、「日韓・韓日交流おまつり」の様な草の根ベースの文化交流を充実・拡大させ、今後とも民間の先頭に立って、両国の友好・経済交流拡大に尽力していく事とした。そのためにも両国政府の一層のご理解と継続的なご支援を期待する。

次回の日韓経済人会議は第50回記念として2018年に日本国に於いて開催する事とした。

2017年9月27日

日本側代表団団長 佐々木幹夫
韓国側代表団団長 金 鉦

V. 日韓新産業貿易会議

第 19 回日韓新産業貿易会議開催

1. 開催日：2018年3月28日(水) 18:30~20:30 (レセプション)
3月29日(木) 09:00~15:30 (会議)

2. 場 所：：ホテルオークラ東京別館

3. 参加者：日本側：39名 韓国側：64名 合計103名

4. 講演テーマ：

『第50回日韓経済人会議をともに喜び、経済・人材・文化交流を通じて次の50年を創造しよう!』

① Session I：「日韓経済連携 ミクロ&マクロ」

・日本側発表者：藤吉優行・ソウルジャパンクラブ理事長

韓国三菱商事(株)代表理事社長

主題：「ソウルジャパンクラブ 2017年度活動報告・2018年の課題」

・韓国側発表者：全海尚・東レ先端素材(株)代表理事社長

主題：「東レ先端素材の成功要因を通して見た韓日経済協力・交流の拡大」

② Session II：「次の50年・次世代・文化・観光交流」

・日本側発表者：田中英士・(株)博報堂 TOKYO2020 推進室

推進二部長

主題：「東京オリンピック・パラリンピックをプラットフォームにした日韓文化交流」

・韓国側発表者：申珥秀・法務法人世宗顧問・前駐日韓国大使

主題：「共に夢見る 21世紀の韓国と日本-共生と協力の善隣関係-」

5. 総 括：

・これまで長い間日韓の経済人が努力して築き上げてきた「経済協力」「人材交流」「文化交流」をこの節目に振り返り、日韓経済交流の大切さ、継続価値の共有をすべきという結論に達した。

VI. 青少年交流事業

1. 青少年交流事業の実施状況

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで14年間で24回開催し、延べ2,220人近くの交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校との理解と協力が広がりつつある。
- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS: 2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(財)日韓文化交流基金委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営し、2013年度、2014年度はJENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として(財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格しその業務委託金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、参加費無料で運営した。2015年度、2016年度、2017年度は「JENESYS2.0/JENESYS2016/ JENESYS2017」の業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金、それから参加者より参加費として10,000円を徴収し運営した。
- ③ 本キャンプの最大の特徴は事業企画を立てるという課題を日韓混成チームに与え、その共同作業により深い交流を体験させることである。この特徴を基に回を重ねる度にプログラム内容の充実を図り、参加学校も増えてきている。2017年度の第24回キャンプでは、2018年冬季オリンピック・パラリンピックの舞台となった韓国平昌(ピョンチャン)にて開催し、オリンピック競技場を見学したり、平昌オリンピック組織委員会の方より、オリンピックに関する講話を聞く機会をもった。また平昌オリンピック組織委員会事務所・平昌オリンピック広報館・バーブ農園・風力発電所を訪れ、韓国経済体験を行い、その体験学習を基に、2018年平昌冬季五輪&2020年東京夏季五輪で日韓両国が相互協力できる新たな五輪ビジネス案を企画・発表した。
- ④ 今後の課題：本事業の成果・意義を社会的に訴求することで政府の継続的支援を得ていくことが肝要である。

(2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国で OB 会（JKSFF/KJSFF）を発足させ 2006 年度から活動を始めた。日韓各々にて勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。
- ② 両国 OB 会活動最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前勉強・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2017 年度は「相互理解」をテーマに、韓国・龍仁市にて第 12 回目を開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

(3) 「Visit & Feel JAPAN Tour in 2017 Winter」実施状況

- ① 日本の歴史や自然、現代や未来を感じさせる場所を訪れ、日本の産業やおもてなしを感じさせる体験をすることで、多角的視点から日本と日本人を見て感じてもらうツアー・交流会を行う。また、ツアー中やツアー終了後、参加者が見たもの、経験したこと、感じたことについて、SNS に定期的、また任意に投稿してもらい、交流活動の様子とともに日本の魅力を広く発信することも、このツアー・交流会の一つの大きな目標である。
- ② 第 2 回目となった 2017 年度は、北海道札幌市役所を訪れ、「オリンピック誘致と観光促進」に関する講話を聴講し討論・発表会を行ったり、駐札幌大韓民国総領事館を訪れ、「2018 平昌五輪と 2020 東京五輪を通して、日韓両国が相互協力できることについて」発表会と領事との懇談会を行った。また、プログラム中、北海道大学生とのよさこいを通じた交流会、1972 年札幌冬季五輪の舞台となった大倉山展望台と札幌オリンピックミュージアムの視察、オリンピック競技の一つである「カーリング」の体験の他、ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所、アイヌ民族博物館、立佞武多の館のなどで日本の歴史や文化、経済を見学・体験し、その内容について SNS を通じて対外発信

を行った。

- ③ 高校生交流キャンプ・未来会議と同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

2. 青少年交流事業の実施実績

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第10回～第18回、第20回～第24回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省、駐韓日本大使館、
韓国産業通商資源部／駐日韓国大使館

・これまでの開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人

第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 & 仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
延べ参加人数			1,101人	1,117人	2,218人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第3回～第6回、第9回～第10回、第11回～第12回は自主開催)
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB会組織)
- ・後援：日韓経済協会

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
延べ参加人数			180人	181人	361人

(3) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC (ソウルジャパンクラブ)
- ・協力・協賛：三菱商事(株)、アサヒビール(株)、JTB、JKSFF・KJSFF

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(4) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB会組織)
- ・後援：日韓経済協会

・これまでの開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

3. 2018年度青少年交流事業開催予定

「国際平和文化都市」として世界的に知名度の高い広島市にて開催することで、日韓両国の高校生が一緒に“国際交流を通じた世界平和”について考えてみる機会をもつ。両国高校生が10人前後の日韓混成チームに分かれ、広島にある各種産業施設にて日本経済現場体験を行い、その体験学習を基に、世界平和につながる日韓両国で通用する新たなビジネス案を企画・発表する。これら現場体験や共同作業を通じて日韓高校生のより濃密な交流を図る。運営面については、日本側では「日韓文化交流基金」の企画競争公募に申請する予定であり、韓国側では産業通商資源部の支援を募る予定である。

Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

1. 日報の配信

韓国メディア発のニュースが近頃は多様化し、且つ、各メディアの日刊日本語版も数が増えている。韓国情勢と動向をリアルタイム的に選別し情報として提供するため、韓国の通信社や新聞各社の日本語記事から選択し日報ベースで随時 E メールにて配信した。

2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治経済動向・経済指標・社会文化・一般トピックス等のニュースを韓国の新聞記事や韓国政府機関HPから選別し、翻訳・校正・編集した情報を週報ベースで作成し配信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウォッチし、韓国語記事の内容チェックも行い、読みやすい日本語訳にするよう努めた。

尚、週報はEメールにて（一部ファックス）原則、毎週木曜日に会員宛てに送付した。

一方、当該週に翻訳した記事のうち週報に未掲載の記事はタイトル一覧を週報末尾に記載し、会員からの要望に応じ個別に要望記事をEメールする対応も行った。

2017年度は、2017年4月6日付け第1261号から2018年3月29日付け第1302号までの42週分を発行した。

3. 月報『協会報』の発行

協会報の主な内容は次の通り。

【**経済一般動向**】では、韓国の最新動向に沿った質感のある関連記事を、主として韓国の経済週刊誌（複数）から選択・翻訳したうえ情報として提供した。週報とは異なり、話題性の高いイシューに関するまとまった記事の掲載に留意した。

【**JKEレポート**】では、1カ月単位で（最近の韓国情勢）と（最近の日韓企業間の動向）を～報道日誌～として、多数の日韓メディア報道の中から主たるものを選び日々の報道を時系列的に掲載した。

【**資料**】では、韓国の主要な最新統計資料を選択し翻訳のうえ掲載した。

【**協会事業など**】では、協会の各種活動内容を紹介し報告した。

また、協会と共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動も幅広く月次報告した。

2017年度は、529号（2017年4月号）から539号（2018年3月号）まで月刊で計11冊を発行し、会員会社・関係団体等に配布した。

（協会報内の【**経済一般動向**】の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り）

4. 最近の統計指標で見た経済状況

貿易立国の韓国の2017年実績(暦年)は、輸出5,737億ドル(前年比15.8%増)、輸入4,785億ドル(同17.8%増)、貿易収支黒字は952億ドルであった。

輸出入を合わせた年間貿易額は2014年まで4年連続で1兆ドルを超えたが、2015年、2016年には中国経済成長の鈍化や世界的な景気低迷の影響を受け1兆ドル割れしていた。しかし、2017年は上記の通り貿易額1兆522億ドルを達成した。

一方、韓国銀行発表の2017年の経常収支は785億ドルの黒字(前年の992億ドル比20.9%減)を計上し、外貨準備高は2017年末で3,893億ドル(2018年3月末で3,968億ドル)を保有する。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2~3%台で推移しているが、2017年は3.1%(暫定値)だった。2018年も成長率3.1%(韓国銀行)と見通されている。

統計庁発表の若年失業率(15~29歳)は2018年3月に11.6%で依然として若年層の就職難が大きな社会問題となっている。

また、家計負債は依然として増加が続き2017年9月末で1,419兆1,000億円となった。2017年の家計の可処分所得に比した負債の比率(家計負債比率)は185.9%に達している。

Ⅷ. その他事業及び出来事等

1. 日韓第三国市場共同進出セミナー（共催）

- (1) 主 催：経団連、全経連、日韓経済協会、韓日経済協会
- (2) 日 時：平成 29 年 5 月 22 日（月）
- (3) 場 所：韓国ソウル 全経聯カンファレンスセンター

2. 第 11 回日韓商工会議所首脳会議

- (1) 日 時：平成 29 年 7 月 12 日～13 日
- (2) 場 所：新富良野プリンスホテル
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事

3. 第 25 回日韓・韓日フォーラム

- (1) 日 時：平成 29 年 8 月 28 日～30 日
- (2) 場 所：ウエスティン朝鮮ホテルソウル
- (3) 参加者：是永専務理事

4. 日韓交流おまつり 2017 in Tokyo （第 9 回）

- (1) 日 時：平成 29 年 9 月 23 日～24 日
- (2) 場 所：日比谷公園
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、木村理事

5. 日韓交流おまつり 2017 in Seoul （第 13 回）

- (1) 日 時：平成 29 年 9 月 24 日
- (2) 場 所：COEX 展示場
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、木村理事

6. 李俊揆駐日本国大韓民国特命全権大使歓送晩餐会

- (1) 日 時：平成 29 年 10 月 2 日
- (2) 場 所：ホテルオークラ東京
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、清原副会長、古賀副会長、橋本副会長、井水副会長、小平副会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事、木村理事他

7. 開天節（韓国建国記念日）レセプション

- (1) 日 時：平成 29 年 10 月 3 日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事

8. 趙顯 韓国外交部第二次官との昼食懇談会

- (1) 日 時：平成 29 年 11 月 13 日
- (2) 場 所：ホテルオークラ東京
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、清原副会長、小平副会長、井水副会長
是永専務理事、杉山常務理事、木村理事

9. 李洙勲新日本国大韓民国特命全権大使歓迎晚餐会

- (1) 日 時：平成 29 年 12 月 1 日
- (2) 場 所：開東閣
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、岡副会長、荻田副会長、井水副会長
是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事、木村理事他韓国大使館の皆様

10. 第 53 回日韓・韓日協力委員会合同総会

- (1) 日 時：平成 29 年 12 月 2 日～4 日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事

11. 賀詞交歓会（日韓経済協会及び日韓産業技術協力財団共同開催）

- (1) 日 時：平成 30 年 1 月 17 日
- (2) 場 所：三菱クラブ
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、荻田副会長、清原副会長、井水副会長他

12. 駐日韓国企業連合会 韓日経済人交流の夕べ

- (1) 日 時：平成 30 年 2 月 1 日
- (2) 場 所：帝国ホテル
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、是永専務理事、杉山常務理事

IX. 会 員 異 動

1. 入会

(1) 正会員 (会員名)	(代表者)	(入会年月日)
パーソルホールディングス株式会社	代表取締役社長	水田正道 H29. 07. 01
郵船トラベル株式会社	代表取締役社長	磯村克生 H30. 03. 01
(2) 協力会員 (会員名)	(代表者)	(入会年月日)
コクヨ株式会社ファニチャー事業本部	法人営業第1本部本部長	大田 豊 H29. 04. 01
北陸環日本海経済交流促進協議会	会長	久和 進 H29. 06. 01
社団法人韓日文化・産業交流協会	名誉会長	高杉暢也 H29. 09. 01
NKN株式会社	取締役社長	千 経坡 H29. 09. 01

2. 退会

(1) 正会員 (会員名)	(退会年月日)
株式会社セブニーレブン・ジャパン	H. 29. 09. 30
水 i n g 株式会社	H. 30. 03. 31
高砂香料工業株式会社	H. 30. 03. 31
(2) 協力会員 (会員名)	(退会年月日)
株式会社エイチ・ジェイ	H. 29. 05. 31
公益財団法人北九州国際技術協力協会	H. 30. 03. 31

3. 平成30年3月31日現在

正会員数	73社
協力会員数	9社

以上

月刊誌『協会報』の主要標題一覧
2017年4月（第529号）～2018年3月（第539号）

〔特集〕	2017年7月	* 「人口の崖」問題を解決するためには
2018年1月	* 平成30年 年頭所感（佐々木幹夫）	8月
		* 新政権が経済政策の方向性を発表
		* 文在寅政権の国政運営5カ年計画を 見てみると
〔特別掲載〕		* 国政運営5カ年計画…財源はどこから？
2017年11月	* 日韓経済協会（JKE）設立の契機と その背景（石丸 聖剛）	* 脱原発の経済学
		* 過去最高に引き上げられた最低賃金の逆説
		* 回復の兆しが見える韓国造船業
〔経済一般動向〕		* サムスン電子、平澤工場稼働で 「超格差戦略」
2017年4月	* 蜃気楼に終わった経済革新3カ年計画	9月
	* 生死の岐路に立った大宇造船海洋	* 文在寅政権による初の税制改正案
	* 「紅色供給網」の脅威に怯える韓国企業	* 韓中修交25年、寒々とした銀婚式
	* 中国なき韓国経済、試験台に立つ	* 戦争危機のたびに動揺する韓国経済
	* 有力候補の公約からひも解く大統領の条件	* 朝鮮半島の安全保障に関する危機意識調査
	* 大統領候補の公約についてアンケート 調査	* ソウルの住宅供給量に関する適正論議の 真実
	* 「青年失信（失業と信用不良）」の時代	* 李在鎔一審で懲役刑、前途暗澹たるサムスン
5月	* 上場企業の営業利益180兆ウォン時代	10月
	* 企業が史上最高の営業利益をあげられた 要因は？	* 429兆ウォンの2018年度スーパー予算案
	* 景気底打ち論を裏付ける4つの根拠	* 活力失う危機の韓国経済
	* 成長見通しを0.1P引き上げた韓国銀行	* 3カ所以上から借入がある多重債務者が 390万人に
	* 雇用統計の錯視	* 急成長するシニアビジネス
	* 韓国の青空を覆った「沈黙の殺人者」 PM2.5	* 臨時休日の経済学
	* 現代自動車も「THAADショック」で 対中販売台数が半減	* 韓国を揺るがした「食品・生活必需品・ 疾病ショック」を考える
	* 悪材料が重なり「進退両難」の現代自動車 グループ	11月
		* 落日を迎えた低金利時代
6月	* 文在寅大統領の公約に見るJノミクス	* 家計負債対策が不動産市場を直撃
	* 微細塵の流れ弾で大混乱に陥った企業	* 危機の迫る建設業
	* 2017年の共同住宅公示価格、4年連続上昇	* 順調な上昇飛行、LCC全盛時代
	* グローバル市場で大きく羽ばたく サムスン電子	* グローバル市場における韓国7大産業の現状 I. 電子・半導体 II. 自動車 III. 石油化学
	* 「スーパーサイクル」に入った半導体	2017年12月
	* ターンアラウンドが期待される現代重工業	* 韓国経済を揺るがす3大労働大変革
		2018年1月
		* 「労組の利益を代弁」労働者理事制の 導入が広がる
7月	* 輸出好調で第1四半期の経済成長率は 驚きの1.1%	* 2018年度予算案、428兆ウォンに確定
	* 国内初の商業用原発・コリ1号機停止	* 韓銀、6年5カ月ぶりに政策金利を 1.5%に引き上げ
	* 米FRBの政策金利引き上げの余波は？	* 2018年の韓国経済、成長の勢いは鈍化
	* Jノミクス庶民包容政策に中小企業も 四苦八苦	* 貿易規模、3年ぶりに1兆ドル超え
	* 韓国企業の墓場となった中国市場	* 2017年の韓国人の自画像
	* 日々2500店で「自営業の夢」が消えている	* グローバル市場における韓国7大産業の現状 IV. 造船業 V. 鉄鋼業 VI. 建設業 VII. バイオ産業
	* 人口の崖が経済・社会を脅かす	

2018年2月	*2018年の経済政策の方向は「成長よりも分配」 *2018年の韓国経済大予測 韓国経済の観察ポイント (1) 3%成長 韓国経済の観察ポイント (2) 輸出 韓国経済の観察ポイント (3) 家計負債 *韓国型ドローン産業の青写真は？ *現代自・起亜自は2010年以降で最低の業績 *危機にある造船業、今年は違ってくるのか？	2017年5月	*2017年4月の消費者物価動向 (統計庁) *2017年4月の雇用動向 (韓国統計庁) *2017年4月の自動車産業動向 (産業通商資源部)
3月	*旧正月に民心を問う I. 文在寅政権は支持率が高いが20代は心離れの兆し II. 経済政策に対する評価は？ III. 外交・社会・福祉分野に対する評価は？ IV. 財テク&老後の備えは？ *韓国10大グループの悩みと課題 I. サムスングループ II. 現代自動車グループ III. SKグループ IV. LGグループ	6月	*2017年主債務系列 (36グループ) 選定結果 (金融監督院) *2017年3月末の外債動向および評価 (企画財政部) *2017年1~3月期の海外直接投資 (企画財政部) *2017年1~3月期の国民所得 (暫定) (韓国銀行) *2017年4月の国際収支 (韓国銀行) *2017年5月の輸出入動向 (暫定) (産業通商資源部) *2017年5月の消費者物価動向 (統計庁) *2017年5月末外貨準備高 (韓国銀行) *2017年5月の自動車産業動向 (産業通商資源部)
			*「OECD Economic Outlook」発表 (企画財政部) *2018年予算要求現況 (企画財政部)
〔新刊書案内〕			
2018年3月	*『金鍾泌 (キム・ジョンピル) 証言録』の紹介及び限定贈呈	7月	*2017年5月の産業動向 (韓国統計庁) *2017年5月の国際収支 (暫定) (韓国銀行) *2017年6月末の外貨準備高 (韓国銀行) *2017年6月の消費者物価動向 (統計庁) *2017年6月及び上半期の輸出入動向 *2017年6月及び上半期の輸出入動向 (産業通商資源部) *2017年6月及び上半期の自動車産業動向 (産業通商資源部) *ムーディーズ、韓国の格付けA a 2で再確認 (企画財政部)
〔JKELレポート〕			
2017年4月)	*最近の韓国情勢～報道日誌～		
2018年3月			
2017年4月)	*最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		
2018年3月		8月	*2017年4~6月期の実質国内総生産 (速報) (韓国銀行) *2017年6月の生産者物価指数 (韓国銀行) *2017年6月の国際収支 (暫定) (韓国銀行) *2017年7月の消費者物価動向 (統計庁) *2017年7月の輸出入動向 (産業通商資源部) *2017年7月末の外貨準備高 (韓国銀行) *2017年7月の雇用動向 (韓国統計庁) *2016年北朝鮮の経済成長率推定結果 (韓国銀行)
〔資料〕			
2017年4月	*2015年国民経済計算 (確定) 及び2016年国民経済計算 (暫定) (韓銀) *2017年2月の国際収支 (暫定) (韓国銀行) *2017年3月の輸出入動向 (産業部) *2017年3月末の外貨準備高 (韓国銀行) *2017年3月の消費者物価動向 (統計庁) *2017年3月の雇用動向 (韓国統計庁)	9月	*2017年4~6月期の国民所得 (暫定) (韓銀) *2017年6月末の国際投資対照表 (暫定) (韓国銀行) *2017年1~3月期実質国内総生産 (速報) *2017年4月の輸出入動向 (産業通商資源部)
5月			*2017年8月の輸出入動向 (産業通商資源部)

2017年9月	* 2017年4月末の外貨準備高 (韓銀)	2018年2月	* 2017年12月末の国際収支 (暫定)
	* 2017年8月の雇用動向 (韓国統計庁)		(韓国銀行)
	* 2017年8月の韓国自動車産業動向		* 2018年1月の輸出入動向
	(産業通商資源部)		(産業通商資源部)
	* S & P、韓国の格付け及び展望を A A		* 2018年1月末の外貨準備高 (韓国銀行)
(安定的) で維持 (企画財政部)		3月	* 2017年末国際投資対照表 (暫定)
* 2018年度政府予算案 (企画財政部)	(韓国銀行)		
10月	* 2017年8月の生産者物価指数		* 2017年海外直接投資動向 (企画財政部)
	(韓国銀行)		* 2018年1月の産業活動 (企画財政部)
	* 2017年8月の国際収支 (暫定)		* 2018年1月末の国際収支 (暫定) (韓銀)
	(韓国銀行)	* 2018年2月の輸出入動向	
	* 2017年9月の消費者物価動向 (統計庁)	(産業通商資源部)	
* 2017年9月の輸出入動向	* 2018年2月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2018年2月の雇用動向 (韓国統計庁)
(産業通商資源部)			
11月	* 2017年7~9月期の実質国内総生産	〔協会事業など〕	
	(速報) (韓国銀行)	2017年6月	* (一社) 日韓経済協会の主要活動
	* ムーディーズ、韓国の信用等級を A a 2	2017年8月	* インターン実習プログラムオリエンテー
	で再確認 (企画財政部)		ション開催
	* 2017年9月の生産者物価指数		* 第24回「日韓高校生交流キャンプ」
	(韓国銀行)		開催報告
	* 2017年9月の国際収支 (暫定)		* 第12回「日韓学生未来会議」開催報告
	(韓国銀行)	11月	* 『第24回日韓高校生キャンプ』参加生徒
	* 2017年10月の輸出入動向 (通関基準、		の感想文 ①
	速報値) (産業通商資源部)	2017年12月	* 「日韓交流おまつり2017」総評
	* 2017年10月の消費者物価動向	2018年1月	(高杉 暢也)
(韓国統計庁)	合併号	* (一社) 日韓経済協会の主要活動	
* 2017年10月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 「第50回日韓経済人会議」ご案内	
* 2017年10月の韓国自動車産業動向		* 『第24回日韓高校生キャンプ』参加生徒	
(産業通商資源部)		の感想文 ②	
* 2017年10月の雇用動向 (韓国統計庁)	2018年2月	* (一社) 日韓経済協会の主要活動	
2017年12月 2018年1月 合併号	* 2017年7~9月の国民所得 (暫定)		* Visit & Feel Japan Tour in 2018
	(韓国銀行)		Winter開催報告
	* 2017年11月末の国際収支 (暫定) (韓銀)		* 『第24回日韓高校生キャンプ』参加生徒
	* 2017年12月末の外貨準備高 (韓国銀行)		の感想文 ③
	* 2017年の外国人直接投資動向	3月	* Visit & Feel Japan Tour in 2018
	(産業通商資源部)		Winter感想文
	* 2017年 (年間、12月) の輸出入動向		* 『第24回日韓高校生キャンプ』参加生徒
	(産業通商資源部)		の感想文 ④
	* 2017年12月及び年間の雇用動向 (統計庁)	〔財団活動の紹介〕	
	* 2017年の自動車産業動向	2017年4月	* (一財) 日韓産業技術協力財団の主要活動
(産業通商資源部)	7月	* (一財) 日韓産業技術協力財団の主要活動	
* 2018年予算の主要内容 (企画財政部)	10月	* (一財) 日韓産業技術協力財団の主要活動	
* 少子高齢化、第4次産業革命…急変の			
雇用現状 (毎経エコノミー)			